

令和6年度学校保健統計調査結果(確定値)

徳島県統計課

この調査は、統計法に基づく基幹統計（文部科学省所管）として実施されるものであり、各学校において学校保健安全法により、毎年定期的に行われている健康診断の結果から、児童、生徒及び幼児（以下「児童等」という。）の発育及び健康の状態を明らかにし、学校保健行政上の基礎資料を得ることを目的として、昭和23年度より毎年全国一斉に実施されている統計調査です。

I 調査の概要

1 調査の目的

この調査は、児童等の発育及び健康の状態を明らかにし、学校保健行政上の基礎資料を得ることを目的とする。

2 調査の範囲・対象

調査の範囲は、幼稚園、幼保連携型認定こども園、小学校、中学校、高等学校及び中等教育学校のうち、文部科学大臣があらかじめ指定する学校（以下「調査実施校」という。）である。

調査の対象は、調査実施校に在籍する満5歳から17歳（令和6年4月1日現在）までの児童等の一部である。

3 調査事項

- (1) 児童等の発育状態（身長、体重）
- (2) 児童等の健康状態（栄養状態、脊柱・胸郭・四肢の状態、視力、聴力、眼の疾病・異常の有無、耳鼻咽喉頭疾患・皮膚疾患の有無、歯・口腔の疾病・異常の有無、結核の有無及び結核に関する検診の結果、心臓の疾病・異常の有無、尿、その他の疾病・異常の有無）

4 調査期日及び方法等

- (1) 令和6年4月から令和6年6月の間に実施された学校保健安全法による健康診断の結果に基づき調査した。
- (2) 調査の申告義務者は、調査実施校の長である。
- (3) 調査系統は、次のとおりである。

文部科学大臣 — 県知事 — 調査実施校の長

- (4) 調査は、標本抽出法により行っている。抽出手順は、次のとおりである。
 - ア 学校種別に児童等の数の累積和を求める。
 - イ その累積和を用いて調査実施校を抽出する。
 - ウ 発育状態調査については、抽出された学校から系統抽出により児童等を抽出する。健康状態調査については、当該年齢の全児童生徒が対象となる。
なお、標本抽出の結果得られた調査対象数は、次表のとおりである。

学校種別	調査実施校 (校・園)	発育状態調査		健康状態調査		全児童等数 (人)
		調査対象者 (人)	抽出率 (%)	調査対象者 (人)	抽出率 (%)	
幼稚園	29	884	26.3	1,006	29.9	3,366
小学校	57	5,152	15.9	20,943	64.7	32,354
中学校	37	4,140	23.9	13,098	75.7	17,313
高等学校	24	2,084	13.0	13,187	82.3	16,021

※「幼稚園」には幼保連携型認定こども園を含む。以下の各表において同じ。

「幼稚園」の調査対象者は5歳児のみのため、全園児数も5歳児のみの人数としている。

Ⅱ 調査結果の概要

1 発育状況

(1) 身長

本県における児童等の身長平均値を年齢別にみると表1のとおりである。

全国平均と比較すると、男子は5歳、7歳、8歳、14歳を除いた全ての年齢で全国平均と同じか下回っている。女子は5歳、7歳を除いた全ての年齢で全国平均と同じか下回っている。

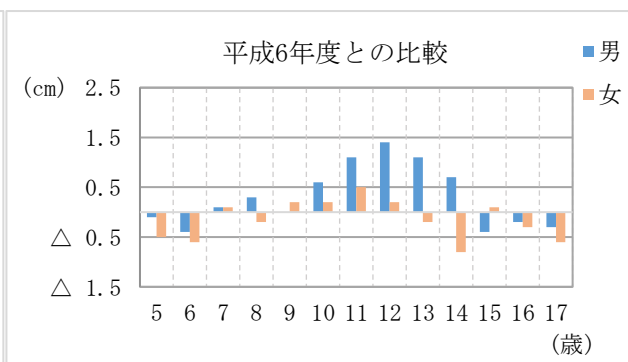
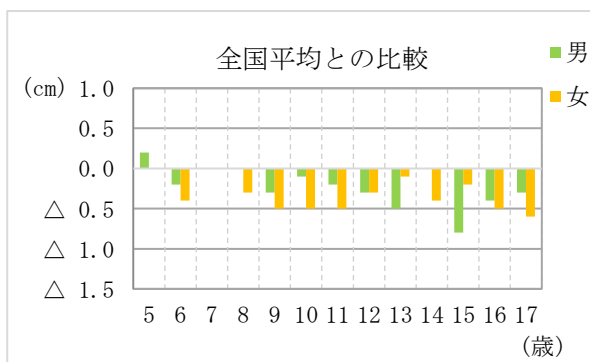
親世代である30年前の平成6年度と比較すると、男子は7～14歳の年齢で親世代を上回っている。女子は、5歳、6歳、8歳、13歳、14歳、16歳、17歳を除いた年齢で親世代を上回っている。また、男子は12歳で1.4cm、女子は11歳で0.5cm、親世代を最も上回っている。

表1 年齢別身長の平均値

区 分		男 子					女 子				
		令和6年度			平成6年度		令和6年度			平成6年度	
		徳島県	全 国		徳 島 県	A－C	徳島県	全 国		徳 島 県	A－C
		A	B	A－B	C		A	B	A－B	C	
幼稚園	5 歳	110.8	110.6	0.2	110.9	△ 0.1	109.6	109.6	0.0	110.1	△ 0.5
小 学 校	6 歳	116.5	116.7	△ 0.2	116.9	△ 0.4	115.4	115.8	△ 0.4	116.0	△ 0.6
	7 歳	122.6	122.6	0.0	122.5	0.1	121.8	121.8	0.0	121.7	0.1
	8 歳	128.5	128.5	0.0	128.2	0.3	127.4	127.7	△ 0.3	127.6	△ 0.2
	9 歳	133.7	134.0	△ 0.3	133.7	0.0	133.6	134.1	△ 0.5	133.4	0.2
	10 歳	139.6	139.7	△ 0.1	139.0	0.6	140.6	141.1	△ 0.5	140.4	0.2
	11 歳	145.8	146.0	△ 0.2	144.7	1.1	147.3	147.8	△ 0.5	146.8	0.5
中 学 校	12 歳	153.7	154.0	△ 0.3	152.3	1.4	152.0	152.3	△ 0.3	151.8	0.2
	13 歳	160.6	161.1	△ 0.5	159.5	1.1	154.9	155.0	△ 0.1	155.1	△ 0.2
	14 歳	166.1	166.1	0.0	165.4	0.7	156.0	156.4	△ 0.4	156.8	△ 0.8
高 等 学 校	15 歳	167.8	168.6	△ 0.8	168.2	△ 0.4	156.9	157.1	△ 0.2	156.8	0.1
	16 歳	169.5	169.9	△ 0.4	169.7	△ 0.2	157.2	157.7	△ 0.5	157.5	△ 0.3
	17 歳	170.5	170.8	△ 0.3	170.8	△ 0.3	157.4	158.0	△ 0.6	158.0	△ 0.6

(単位：cm)

※年齢は各年4月1日現在の満年齢である。以下の各表において同じ。



※年齢は各年4月1日現在の満年齢である。以下の各表において同じ。

(2) 体重

本県における児童等の体重の平均値を年齢別にみると表2のとおりである。

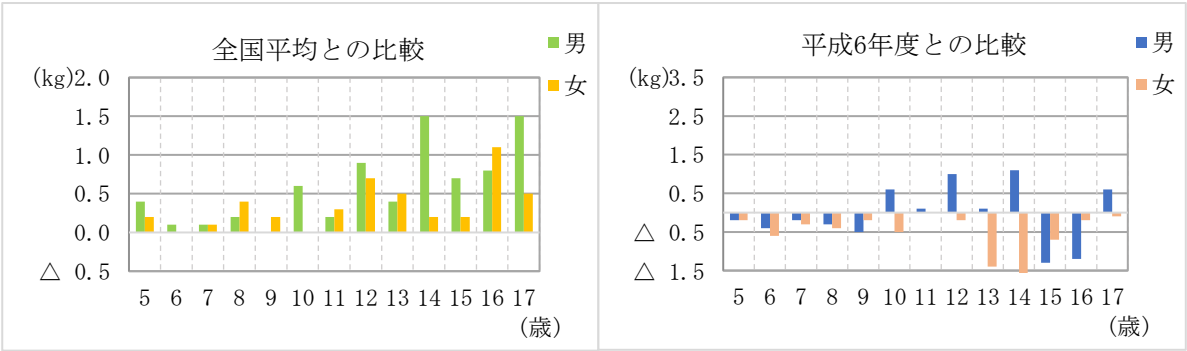
全国平均と比較すると、男女共に、全ての年齢で同じか上回っている。

親世代である30年前の平成6年度と比較すると、男子は5～9歳、15、16歳を除いた全ての年齢で親世代を上回っており、女子は全ての年齢で親世代と同じか下回っている。また、男子は15歳で1.3kg、女子は14歳で1.8kg、親世代を最も下回っている。

表2 年齢別体重の平均値

区 分		男 子					女 子				
		令和6年度			平成6年度		令和6年度			平成6年度	
		徳島県	全 国		徳 島 県	△	徳島県	全 国		徳 島 県	△
		A	B	A－B	C		A	B	A－B	C	A－C
幼稚園	5 歳	19.4	19.0	0.4	19.6	△ 0.2	18.9	18.7	0.2	19.1	△ 0.2
小 学 校	6 歳	21.5	21.4	0.1	21.9	△ 0.4	21.0	21.0	0.0	21.6	△ 0.6
	7 歳	24.3	24.2	0.1	24.5	△ 0.2	23.8	23.7	0.1	24.1	△ 0.3
	8 歳	27.8	27.6	0.2	28.1	△ 0.3	27.3	26.9	0.4	27.7	△ 0.4
	9 歳	31.2	31.2	0.0	31.7	△ 0.5	30.7	30.5	0.2	30.9	△ 0.2
	10 歳	35.8	35.2	0.6	35.2	0.6	35.0	35.0	0.0	35.5	△ 0.5
	11 歳	39.8	39.6	0.2	39.7	0.1	40.4	40.1	0.3	40.4	0.0
中 学 校	12 歳	46.2	45.3	0.9	45.2	1.0	45.1	44.4	0.7	45.3	△ 0.2
	13 歳	50.9	50.5	0.4	50.8	0.1	48.0	47.5	0.5	49.4	△ 1.4
	14 歳	56.5	55.0	1.5	55.4	1.1	49.8	49.6	0.2	51.6	△ 1.8
高 等 学 校	15 歳	59.7	59.0	0.7	61.0	△ 1.3	51.3	51.1	0.2	52.0	△ 0.7
	16 歳	61.3	60.5	0.8	62.5	△ 1.2	53.1	52.0	1.1	53.3	△ 0.2
	17 歳	63.7	62.2	1.5	63.1	0.6	53.0	52.5	0.5	53.1	△ 0.1

(単位：kg)



(3) 肥満傾向児及び痩身傾向児の出現率

本県における肥満傾向児及び痩身傾向児の出現率は表3のとおりである。

肥満傾向児の出現率は、男子では11歳を除いた全ての年齢で全国値を上回っており、5歳が全国で3番目、17歳が全国で4番目に高い。また、女子についても、15歳を除いた全ての年齢で全国値を上回っており、5歳、12歳、13歳は全国で4番目に高い。

痩身傾向児の出現率は、男子では6、7、9、11歳で、女子では14、15、17歳で全国値を上回っている。

表3 年齢別肥満傾向児及び痩身傾向児の出現率

単位(%)

区 分		男		男		女		女	
		肥満傾向児		痩身傾向児		肥満傾向児		痩身傾向児	
		全国	徳島県	全国	徳島県	全国	徳島県	全国	徳島県
幼稚園	5 歳	2.94	4.64 (3)	0.24	- (-)	3.14	5.54 (4)	0.28	0.24 (17)
小 学 校	6 歳	4.07	6.23 (7)	0.42	0.98 (1)	4.47	5.41 (18)	0.56	0.16 (40)
	7 歳	6.52	7.22 (16)	0.62	0.67 (18)	6.03	7.46 (12)	0.57	0.40 (28)
	8 歳	9.51	11.80 (12)	1.06	0.74 (29)	7.86	12.00 (6)	1.30	1.29 (18)
	9 歳	11.30	11.87 (25)	1.90	1.99 (12)	9.08	10.10 (15)	2.33	1.12 (44)
	10 歳	12.73	15.12 (13)	2.90	1.13 (46)	9.10	11.69 (10)	2.98	2.48 (31)
	11 歳	13.00	12.21 (30)	3.47	3.98 (17)	10.02	12.13 (13)	2.86	1.31 (46)
中 学 校	12 歳	12.68	14.36 (9)	3.81	2.61 (41)	9.60	12.83 (4)	4.22	3.76 (27)
	13 歳	11.69	13.04 (11)	3.17	1.90 (39)	8.38	11.51 (4)	3.56	2.75 (34)
	14 歳	10.58	11.40 (23)	3.09	1.92 (40)	7.49	8.60 (15)	3.58	4.61 (4)
高 等 学 校	15 歳	12.13	15.50 (9)	3.88	3.29 (29)	8.28	7.91 (27)	3.46	3.75 (12)
	16 歳	10.94	12.47 (16)	3.67	3.20 (22)	6.77	10.31 (6)	2.87	1.86 (39)
	17 歳	10.63	15.98 (4)	3.43	2.22 (37)	7.64	10.30 (10)	2.33	2.41 (18)

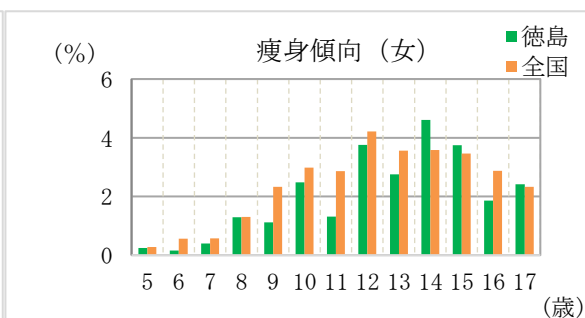
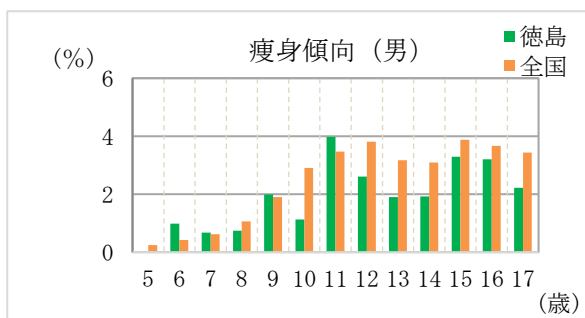
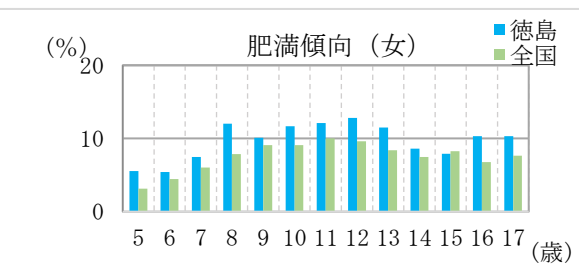
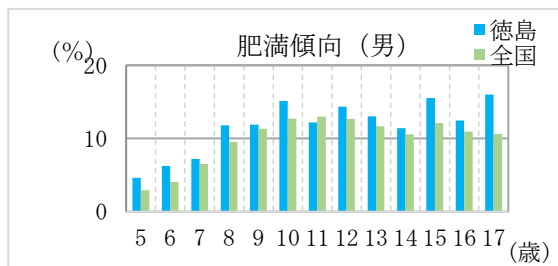
(注) 1 肥満傾向児とは、性別、年齢別、身長別標準体重から肥満度を算出し、肥満度が20%以上の者である。

肥満度 = (実測体重(kg) - 身長別標準体重(kg)) / 身長別標準体重(kg) × 100 (%)

2 痩身傾向児とは、肥満度が△20%以下の者である。

3 () 内は、全国における徳島県の順位である。

4 「 - 」 …… 該当者がいない場合



2 健康状況

(1) 主な疾病・異常等の状況

本県における年齢別の主な疾病・異常等の割合は表4のとおりである。

また、本県における学校種別の主な疾病・異常等の割合で高いものについては表5のとおりである。幼稚園では、「むし歯（う歯）」の者の割合が最も高くなっており、次いで「裸眼視力1.0未満の者」となっている。小学校、中学校、高等学校では、「裸眼視力1.0未満の者」が最も高く、次いで、「むし歯（う歯）」となっている。

表4 年齢別主な疾病・異常等の割合

単位(%)

区 分	裸 眼 視 力				眼 の 疾 病 ・ 異 常	難 聴	耳 鼻 咽 頭			歯 ・ 口 腔			栄 養 状 態	ア ト ピ ー 性 皮 膚 炎	心 電 図 異 常	蛋 白 検 出 の 者	ぜ ん 息	
	計	1.0	0.7	0.3			耳 疾 患	鼻疾 ・ 副 鼻 腔患	口疾 腔患 咽・ 喉異 頭常	むし歯(う歯)								
		未 満 0.7 以 上	未 満 0.3 以 上	未 満						計	処完 了 置者	未の 処あ 置る 歯者						
幼稚園 5歳	25.9	17.3	7.1	1.5	5.8	…	5.2	12.4	3.2	27.5	10.8	16.7	0.0	1.4	…	0.7	0.5	
小 学 校	計	36.3	12.8	12.4	11.1	8.4	0.3	5.9	19.4	4.3	36.2	17.7	18.4	2.0	2.4	4.6	0.6	2.4
	6歳	25.2	15.4	8.3	1.5	7.8	0.8	6.2	15.0	5.0	26.9	9.8	17.2	1.2	2.3	4.6	0.3	2.3
	7歳	27.3	13.7	9.5	4.1	6.8	0.2	7.6	21.2	6.0	37.9	16.3	21.6	1.5	2.5	…	0.4	2.2
	8歳	35.0	14.8	11.7	8.4	5.5	0.3	6.0	14.1	2.2	42.1	21.6	20.5	2.1	2.5	…	0.2	3.0
	9歳	37.1	10.5	13.5	13.1	8.9	…	4.3	X	4.4	44.3	22.3	22.0	1.5	2.2	…	0.6	2.4
	10歳	43.0	9.7	14.6	18.7	7.0	0.1	7.5	20.9	4.8	36.7	19.2	17.5	2.8	2.6	…	1.0	2.4
	11歳	48.6	12.9	16.2	19.5	X	…	3.9	X	3.4	28.7	16.6	12.1	3.0	2.5	…	1.1	2.1
中 学 校	計	60.1	13.9	16.5	29.7	9.4	0.1	6.8	13.3	1.8	32.4	18.9	13.5	1.6	1.9	3.7	1.5	1.3
	12歳	57.9	16.2	17.3	24.3	11.9	0.1	9.9	19.1	2.9	30.1	17.8	12.3	2.0	1.6	3.7	1.7	1.4
	13歳	60.9	12.9	14.7	33.3	8.0	…	6.2	X	1.1	30.3	17.6	12.8	1.4	2.1	…	1.7	1.2
	14歳	X	X	X	X	8.3	0.2	4.4	8.4	1.4	36.8	21.5	15.3	1.3	2.0	…	1.2	1.2
高 等 学 校	計	75.8	8.5	16.3	51.0	3.5	0.2	1.1	5.0	0.2	36.8	23.6	13.2	3.8	2.0	2.4	0.7	2.3
	15歳	73.3	X	X	X	8.7	0.3	3.3	14.7	0.5	33.0	21.2	11.8	4.1	2.6	2.4	0.9	2.4
	16歳	74.4	7.0	16.9	50.4	1.3	…	-	-	-	39.3	24.5	14.8	3.7	1.6	…	0.7	2.3
	17歳	79.7	9.5	14.8	55.3	0.4	0.2	-	-	-	38.2	25.3	12.9	3.5	1.9	…	0.5	2.3

(注) 1 この表は、疾病・異常該当者（疾病・異常に該当する旨健康診断表に記載のあった者）の割合の推定値を示したものである。

2 「－」 …… 該当者がいない場合

「0.0」 …… 係数が単位未満の場合

「…」 …… 調査対象とならない場合

「X」 …… 疾病・異常被患率等の標準誤差が5以上、受検者数が100人（5歳は50人）未満、回答校が1校以下又は疾病・異常被患率が100.0%のため統計数値を公表しない。

表5 学校種別主な疾病・異常等の割合

単位(%)

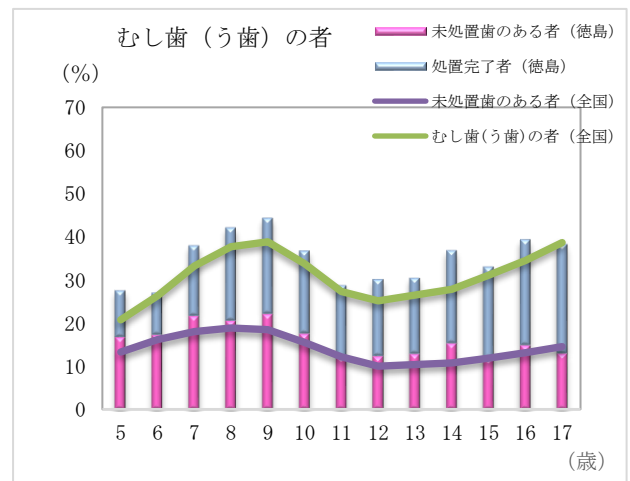
幼稚園			小学校			中学校			高等学校		
区 分	徳島	全国	区 分	徳島	全国	区 分	徳島県	全国	区 分	徳島県	全国
むし歯（う歯）	27.5	20.7	裸眼視力1.0未満	36.3	36.8	裸眼視力1.0未満	60.1	60.6	裸眼視力1.0未満	75.8	71.1
裸眼視力1.0未満	25.9	26.5	むし歯（う歯）	36.2	32.9	むし歯（う歯）	32.4	26.5	むし歯（う歯）	36.8	34.7
鼻・副鼻腔疾患	12.4	2.7	鼻・副鼻腔疾患	19.4	12.1	鼻・副鼻腔疾患	13.3	10.6	鼻・副鼻腔疾患	14.7	7.9
眼の疾病・異常	5.8	1.4	歯・口腔 その他の疾病	13.6	6.9	眼の疾病・異常	9.4	4.8	歯石の状態	4.0	3.9
耳疾病	5.2	1.9	眼の疾病・異常	8.4	5.5	耳疾患	6.8	4.8	栄養状態	3.8	0.6

※全国の数値は小数点2位を四捨五入している。

(2) 疾病・異常等の割合の全国平均との比較

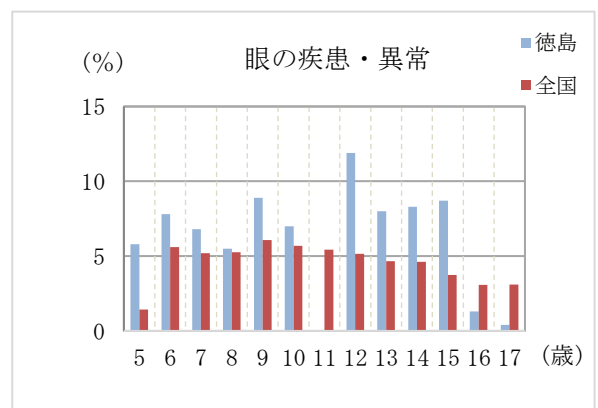
ア むし歯(う歯)の者の割合

17歳以外において、むし歯（う歯）の者の割合（処置完了者を含む。）が、全国平均を上回っている。



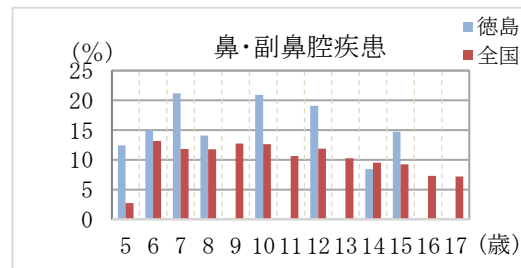
イ 眼の疾病・異常の者の割合

16歳、17歳を除く全ての年齢において、疾病・異常者の割合が全国平均を上回っている。
本県の割合は、12歳で10%以上となっている。



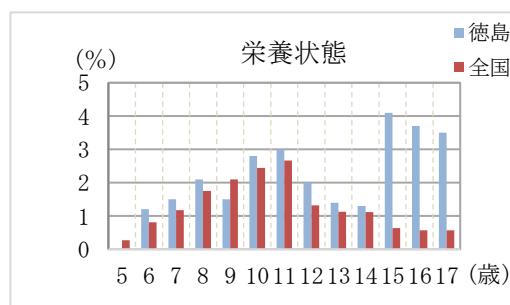
ウ 鼻・副鼻腔疾患の者の割合

14歳を除く全ての年齢で疾患のある者の割合が全国平均を上回っている。
本県の割合は、7歳、10歳で20%を上回っている。



エ 栄養状態

本県の栄養不良又は肥満傾向で特に注意を要すると判断された者の割合は、15歳の4.1%が最も高い。
5,9歳以外の年齢において全国平均を上回っている。



オ 裸眼視力1.0未満の者の割合

5歳、7歳、9歳、10歳、11歳、13歳で全国平均を下回っている。
本県の裸眼視力1.0未満の者の割合は、17歳の79.7%が最も高い。

